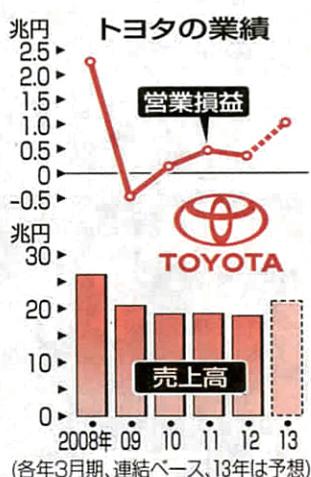


13年3月期営業利益予想

1兆500億円に上方修正した。電機大手や他の自動車大手が苦戦する中で、リーマン・ショック前の08年3月期以来、5年ぶりの1兆円超の目標を堅持する。

日本との関係悪化が影響する中国での販売落ち込みを吸収し、最終的なもつけを示す純利益も200億円多い7800億円に引き上げた。ただ、東京都内で記者会見した小沢哲副社長は、ダイハツ工業、日野自動車を含めたグループの12年の自動車世界生産台数について、これまで掲げていた「少し下回るのではないか」と述べ、989万台に下方修正した。



北米好調で上方修正

ト ミ タ 5 年 ぶ り 1 兆 円 超

増に加え、エコカー補助金などの効果で「実力以上の決算結果になつたのではないか」（小沢副社長）とみている。国内生産や輸出を担うトヨタ単体の13年3月期営業損益（日本基準）は従来見通しより赤字幅が500億円縮小し200億円の赤字になるとの予想を示した。12年9月中間決算では前

完全復活向
正念場迎え

年同期の3223億円の赤字から677億円黒字に転換。4年ぶり半期ベースで営業黒字回復した。

発行所
福井新聞社
福井市大和田町56
郵便番号 910-8552
電話 0776(57)5111
読者センター 57-5140
© 福井新聞社 2012年

法人 医療
福井心臓血管センター
福井循環器病院
福井市新保二丁目二二八番地
(0776)54-5660(代)

きょうの天気						
6時	9	12	15	18	21	24
福井					18/13	
						
80	80	30	80	30	10	
坂井 (三国)					17/12	
						
80	80	30	80	30	30	
大野					17/14	
						
80	80	30	80	80	10	

全方位戦略 中国低迷

日本酒クールに

福井
FUKUI TREND
トレンド

日本酒を「シグレ味わうたりソーダなどで割つて新しい飲み心地を楽しむ「日本酒クールスタイル」。日本酒の需要が縮小する市場の消費を拡大する目的で、日本酒造組合中央会が昨年から展開しているが、県内では季節を問わず、酒蔵や飲食店などで女性や若者向けに広がり始めている。日本酒の需要掘り起こしにもつなげようさまざま取り組みでアピールしていふ。

(主生仁旨)

飲料コンサル・友田さん (福井市出身) 提案

■6種類のレシピ　日本酒クールスタイル　井市出身が監修。ソーダ、氷と合わせた「日本酒ハイボール」のほか、クラッシャーをたっぷり入れた「シャンパンスタイル」にごり酒、ミルク、日本酒、緑茶、ライロック、日本酒、カシスリキュールのワインスタイルの6種類のレシピを提案している。

同中央会では、これらのレシピを各都道府県酒造組合や蔵元に配布。昨夏と今夏は友田さんを講師に、東京で一般女性80人規模の体験講習会を開いて普及を図ってきた。「夏に限らず、季節に関係なく受け入れられるレシピ」と同中央会担当の友田晶子さん（福井市出身）が監修。ソーダ、氷と合わせた「日本酒ハイボール」のほか、「クラッシャー」をたっぷり入れた「シャンパンスタイル」にごり酒、ミルク、日本酒、緑茶、ライロック、日本酒、カシスリキュールのワインスタイルの6種類のレシピを提案している。

黒龍酒造（本社永平寺町松岡春日丁目、水野直人社長）は今年6月、福井市内で行われた若者対象の音楽イベントで、同社の日本酒3種をストレート、ロックのほか、ジンジャー、エールやパインジュースで割つて販売した。720ミリ瓶が約30本、1・8リットル瓶が1本完売し、特にジンジャー、エール割りが人気で半数を占めた。水野社長は「若者にも、提案次第で飲んでも、本酒初心者や女性、外国人にも好評」と話す。

■プラスアルファ　クールスタイルは県内蔵元や酒販店などでも展開され、日本酒離れが進んでいるといわれる若者たちをターゲットに手応えがあるとういう。



季節問わず 女性、若者に好評

■伝える力

10

イル」と説明する。

と別の飲食料を組み合わせることにも抵抗がない」と、クールスタイルの海外展開の可能性も指摘している。

酒に一時没入する。多くの者
りを楽しんだ。同店4代目
の久保田裕之さんは「現代
人に忘れられた部分への回
帰。いわば和のクールスター

の表情を見せたい」と話す。ワインにも精通する塚本オーナーは「海外ではワインを別の食材で割ることも多いため、外国人には日本酒

加え、季節の果物を浮かべた。昨年は重陽の節句の10月23日に越前市内の料亭でコラボし、菊の花を蒸して酒と一緒に飲んだ。菊の香り

塚本芳之オーナーは「日本酒は懐が広く、マンゴーやパイんなどの果物とも相性いいペイントを開き、クールスタイルを応用した飲み方を1丁目では季節に応じて

ロックやソーダ割り——いかが？

消費数量自体は年々減少。年比6・3%減の4867キロで、ピークだった1975年の1万2333キロに比べ6割以上減っている。

と指摘する。「藏元は、飲食店や旅館との関係づくりが重要。飲食店の従業員もワイン普及の原動力になつたのと同様、酒を学び、伝える力が求められる」と話している。

と指摘する。「藏元は、飲食店や旅館との関係づくりが重要。飲食店の従業員もワイン普及の原動力になつたのと同様、酒を学び、伝える力が求められる」と話している。